

こんにちは！

城西大学現代政策学部で勉強中のイ・ドンウォンと申します。

1年の留学期間の半分が過ぎたけど、私が予想した留学生活よりもっと楽しかったし、良い思い出をたくさん作ったと思います。

初めて日本に入国して、宿舎が割り当てられて、学校で様々なオリエンテーションを通じて学校生活を準備した一連の過程は、実際易しくなかったことは事実です。

新しさというのはちょっとした楽しみもありましたが、慣れないことに対して大変で、何をどうすればいいかわからないので疲れがありました。



寮の周辺



小人のカフェ@森林公園

しかし、学校の様々な関係者の方々に助けってもらって、大きな問題なく過ごせたとし、また留学生達のための様々なプログラムがたくさんあって、学習面だけでなく色々な方面で助けられました。

そして、留学を計画して準備しながら、いろんな国籍の人たちに出会って、彼らと共感して疎通したいと期待をしていましたが、予想通り色々な国籍の人たちに出会って、とても嬉しかったです。

日本、ハンガリー、ポーランド、中国、台湾など、いろんな国籍の友達と話したことが、本当にいい思い出になりました。

また、日本人や色々な国籍の留学生たちもいて、今まで知らなかった新しいことを知り、学んだことが、とても意味のある時間でした。



小人のツリー@森林公園



森林公園と僕、ライトアップ！

とても長いと思っていた1年という時間は、もう半年も残っていません。今から残念に思えるのは、留学生活がとても楽しかったということを示す証拠だと思います。

日本語能力と学校生活、いろいろな人々との生活など留学生活は学習的、非学習的なすべての面で満足感のある生活でした。

このような生活を可能にしてくれた学校関係者の方々、お友達にとっても感謝しており、韓国に帰っても忘れません。

ありがとうございます。